

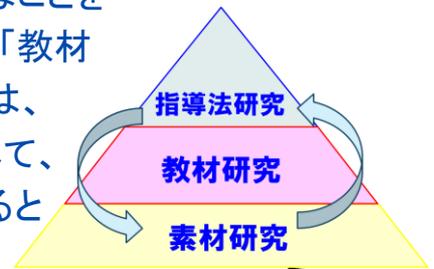


教育学、体育科教育学、教師教育

▶▶▶▶ 地域子ども教育学科 教授 川島 隆

1 - 「素材研究」から始める初等教科教育法(算数)(体育)の授業

授業づくりは、「準備が全て」と言われていますが、どのようなことを準備したらよいのでしょうか。教材をどのように教えるかといった「教材研究・指導法研究」が大切だと言われることもありますが、私は、まず、「教材」と言われる「もの」「こと」を、教師ではなく、人として、その意味や価値を追究する、つまり、楽しむ、味わう、感じ取るという「素材研究」が重要ではないかと考えます。



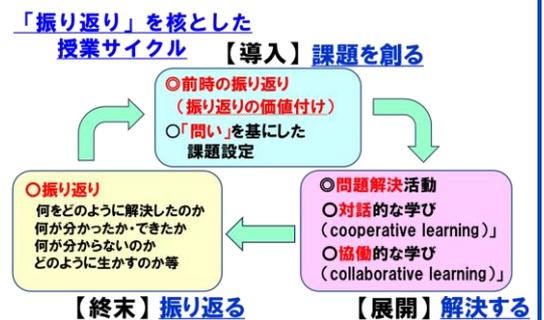
例えば、「新聞紙」。新聞紙は、どんなものでしょう。子どもにとって、どのような魅力を持っているでしょう。「軽い」「音がする」「折りたためる」等、様々な特徴や魅力が挙げられます。その上で、それらの魅力を生かした活動には、どのようなものがあるかを考えます。「投げ上げる」「丸める」「破る」をはじめ、数えきれないほどの教材としての可能性が広がっていきますね。



2 - 教育現場をベースにした「幼小接続」及び「振り返り」に関する研究活動

学習者が「見通し」を持ち「振り返り」ながら学び続ける「主体的な学び」が求められています。

私は、子どもによる「振り返り」をテーマに、子どもにとっての意味や実感に関する研究を続けています。重要なのは、子どもが振り返りをどのように感じ、何を学び取っているかではないかと考えます。



3 - 教育・保育の現場を支援する「学校体育支援プロジェクト」の活動実践

昨年度より、「学校体育支援プロジェクト」を立ち上げ、学生とともに、浜松、磐田、袋井地区で、園・小学校の体育活動を中心に支援活動を行っています。体育の水泳の授業支援、運動会のサポート、宿泊体験活動の支援、業間体育の補助、算数授業の支援等、学校・園のニーズに応じた活動を展開しています。



※ 1, 2, 3いずれの内容でも、相談・支援にあたる事が可能です。気軽にご相談ください。

